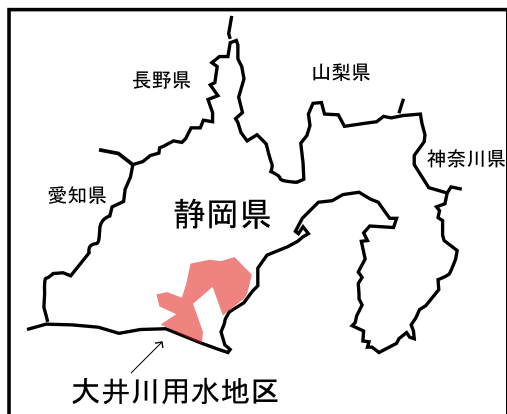


“土地利用集積による効率的な水田農業の確立”



農業生産法人^{さづか}佐東ファーム

【静岡県掛川市】

受賞理由

- ① 土地利用集積による効率的な水田農業の確立
- ② 高収益作物の新規導入
- ③ 耕畜連携及び地産地消の取組

地域農業を担う農業生産法人の設立

国営大井川用水地区（H11～20）は、静岡県のほぼ中央に位置する大井川や菊川により形成された扇状地に広がる農業地帯です。

事業によって、将来に亘る安定した用水の確保と水管理の省力化が可能となることを契機に、地域農業の担い手として魅力ある農業経営の確立と地域に貢献できる農業生産法人を目指して、平成12年3月に「農業生産法人佐東ファーム」が設立されました。



土地利用集積による効率的な水田農業の確立

佐東ファームは、集落の水田のほとんどと周辺集落の水田を利用集積（合計53.8ha）するとともに、水稻栽培の基幹3作業や水稻育苗作業を請け負うなど地域農業の担い手として活躍しています。

大型機械や近隣の集落営農組織と連携した無人ヘリコプター防除を導入し、水稻作業時間は県大規模水田経営の半分以下の水準を達成し、効率的な水田農業を展開しています。



施設トマトの新規導入

施設トマトを新たに導入し、大井川用水を利用した自動かん水・施肥・防除、温度管理などを行う養液栽培システムにより収益性の高い経営を確立しています。

また、労働力は、地域の幼児を持つ母親を優先的に雇用しており、女性が安定して働ける場を提供することで地域社会へも貢献しています。

耕畜連携及び地産地消の取組

家畜飼料として稲ワラを積極的に回収し、畜産農家へ供給するなど耕畜連携の取組を行っています。

また、低温保管庫において籾の状態での低温保管された米は、食味が長期間低下しないため、「新鮮でおいしい地域の米」として、地域住民から高い評価を得ており、贈答品としても取引が多く、現在では、生産量の約3分の2が直接販売されています。



国営大井川用水を有効活用した佐東ファームの経営は、周辺地域の模範となっており、多くの視察者を受け入れています。

また、近隣の集落において佐東ファームを参考に地域農業の担い手組織を立ち上げようとする動きも出始めており、関係者へのアドバイスも行っています。

このように、これまでの成果を広く波及させることで国営大井川用水地区の推進に貢献しています。